

校長室だより

NO.15 平成28年12月15日

松原市立松原東小学校長 吉岡 英治

二十四節季 「冬至（とうじ）」

12/22頃 十一月中 二至二分（霜月：しもつき）太陽視黄経 270 度
日南の限りを行て日の短きの至りなれば也（暦便覧）一年中で最も夜の長い日。
この日より日が伸び始めることから、古くはこの日を年の始点と考えられた。冬至
南瓜や柚湯の慣習が残る日。冬至を境に、日照時間が長くなります。万物のもとと
なる太陽の力が増していくようにも感じられます。よい年の瀬を送ることが、よい
次の年に繋がるものと考え、がんばりましょう。

2学期には、いろいろな学習に取り組みました。

4年生が情報モラルの学習で、LINE株式会社か
ら来ていただき、便利なものですが使い方一つで、人
を傷つけるものになってしまうので、情報端末を使う
ときの気を付けることやマナーについて学びました。



5年生は、学びに対するモチベーションを作るため、勉
強とゲームを融合させ子どものやる気を引き出すコンテ
ンツを作成し、無料学習ゲームサイトを運営している池田
利明さんに来ていただき、体験学習を行っています。

終業式まであと一週間となりました。3年生の学年閉鎖もあり健康面では心配
することもありましたが、運動会・修学旅行・遠足・六中校区フェスタ・わくわ
く土曜日と行事の多い2学期も無事に終わろうとしています。
こうして、様々な行事が行われ、子どもの安全が守られているのも、地域・保
護者の皆様のご協力無しには考えられません。

また、冬休みは、子どもたちが地域・家庭で過ごすこととなり、ご指導をお願
いすることが多くなります。ご家庭では、お手伝いをしっかりさせていただき、
多くの体験をして3学期に子どもたちが、元気に登校してくれることを祈ってお
ります。少し早いですが、これまでのご協力に感謝いたしますとともに、今後と
もよろしくお願い申し上げます。



誰にでもある

思春期にかけて

「沈黙は金」と言われることがありますが、沈黙が人間関係を損ねることもあります。それは、コミュニケーションが断たれてしまうことに、起因しています。コミュニケーションの中で、沈黙してしまう人は、案外います。「こんなことを相手に言ったら、悪いから」や「どうせ言ってもわかってもらえない」、「黙ったんだから、怒っていることがわかるはず」

などと思っている人もあります。中途半端に言い誤解されることもありますが、言わないことを、理解されることはありません。沈黙をきっかけにコミュニケーションが終わることも多く、黙った方は「相手はわかってくれない」と不満が残り、相手は問題があったことに気づいていないことも多くあります。このことが繰り返されると、どんどん溝が広がっていきます。特にこのことは、大人が子どもたちに意識して見せていきたいものです。話を続けるのが、難しい場合は、続きは次の日曜日にというように、断ちきらないようにしていきたいものですね。思春期の子どもは、「何でも話していいよ。」と言っても、大人とは話しにくいと感じることがあります。また、いろいろな課題を抱えた子どもは、自分の思うことを理路整然と話せることが少ないです。大人はどうせいつても聞いてくれないと、思い込んでいるので、弁の立つ大人から意見を言われると、「押しつけ」と受け取りがちになります。質問の形をとることは、会話が続く工夫でもあります。

非言語コミュニケーション（ため息、舌打ち、暴力など）や間接的言語コミュニケーション（遠回しな言い方、いやみなど）に頼ったり、不満なときに沈黙してしまうと、子どもはそのまねをしてしまいがちになり、顔をうかがうようになります。その結果、主体性がなく自尊心の低い人になっていくことが考えられます。

直接的な言葉で話していたら、「きつい言い方」になってしまい、角が立って相手との関係を損ねないかと心配になる場合があるでしょう。また、配慮のいる思春期の子どもと直接的表現で話して大丈夫かと心配になる方もみられます。

直接的に話すポイントを「気持ちを話す」に置いて見てください。そして、「評価」ではなく「気持ち」を伝えてください。相手を傷つけるのは、直接的な言い方ではなく、評価を下しているからです。

気持ちを話すことを苦手としているのは、男性に多くみられます。「気持ちを話すこと」を「弱音を吐くこと」というふうには育てられることが多いのではないのでしょうか。理屈や価値観では、大人と子どもでは立場は違いますが、「気持ち」であれば人間として理解可能であるはずです。

いろいろと紹介してきましたが、今回で終わらせていただきます。

子育てには、特效薬はありません。子どもと向き合うことが、一番の答えかも知れません。保護者の方ををはじめ大人が自信と責任を持って、子どもたちと向き合っていきましょう。微力ですが、我々学校もともに関わらせていただきます。